

事業番号	06 05 03	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	自然公園施設整備事業	部局	環境部	課・室	自然保護課		
		実施期間	S33 ～	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					

### 1 現状と課題

- ・市町村、山小屋等関係団体が行う自然公園の施設整備に対し、国・県は財政支援を行っている。これとともに、自然公園内の県有施設についても、必要に応じた施設整備を実施している。
- ・山岳地域での事業は、気象条件、立地条件により実施できる期間が限られるため、早期発注・早期完了に取り組む。
- ・登山道の多くは山小屋関係者等によって維持管理されてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって山小屋利用者が減少し、山小屋関係者等による公益的活動の継続が困難な状況となっている。
- ・このため、山岳環境の保全と持続的な利用環境を維持し、各山域の実情に応じた施設の整備など、きめ細かな対応策が必要である。

### 2 事業目的

自然公園や自然歩道において、適切な整備を行い、公園等の施設利用者の安全性や利便性を確保する。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①御嶽山ビジターセンターの開館
- ・自然公園利用者や登山者への情報提供（自然環境、火山関連情報等）を行う利用拠点として王滝村（田の原）にビジターセンターを整備し、御岳県立公園の利用推進と観光振興による地域活性化を図る。
- ②ふるさと信州寄付金等を活用した山岳環境保全の推進
- ・ふるさと信州寄付金等を活用して、市町村、山小屋事業者等が実施する登山道及び付帯施設（標識等）、山岳トイレ等の整備、維持補修等を支援。

### 4 成果指標

（推移の凡例  $\nearrow$ ：改善  $\searrow$ ：悪化  $\rightarrow$ ：変化なし  $-$ ：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	自然公園利用者数（暦年）	万人	2,289	2,304	$\nearrow$	3,113	$\nearrow$	3,743	未達成	自然公園の利用と魅力を示すアウトカム指標（成果指標）として設定	
②	環境配慮型トイレの整備率	%	85.2	85.2	$\rightarrow$	88.3	$\nearrow$	88.0	達成	安心して登山等を行うための環境整備状況を示す指標として設定	
③											
④											
⑤											

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	444,179	325,379	$\Delta$ 186,539	583,019	56,430	530,952	8.4
R3年度	598,885	305,310	$\Delta$ 94,336	809,859	64,082	733,645	8.4
R2年度	101,700	301,948	484,396	888,044	62,983	280,901	8.4

事業名	<b>自然公園施設整備事業</b>	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	-------------------	----	-----	-----	-------

## 6 主な取組実績と成果

### ①御嶽山ビジターセンターの開館

・自然公園利用者や登山者への情報提供（自然環境、火山関連情報等）を行う利用拠点として王滝村田の原に県立ビジターセンターを整備した。  
やまテラス王滝

R4年度施設利用者数：2,157人（R4.8.28～10.23）

・開館（R4.8.27）に合わせ式典を実施。同日開館した木曽町御嶽山ビジターセンター（さとテラス三岳）と連携し、御嶽山を含む御岳県立公園の利用推進により、地域活性化を図る。



【御嶽山ビジターセンター やまテラス王滝】

### ②ふるさと信州寄付金等を活用した山岳環境保全の推進

・ふるさと信州寄付金等を活用して、市町村、山小屋事業者等が実施する登山道その他必要な施設や高山植物を保護する施設の整備を支援し、山岳環境の保全を推進した。

【支援箇所数：25箇所】

八ヶ岳：6箇所 御嶽山：4箇所 北アルプス南部：10箇所  
北アルプス北部：4箇所 戸隠：1箇所



【裸地化した登山道に木道を設置】

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	自然公園利用者数（暦年）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>令和4年の自然公園利用者数は、新型コロナウイルス感染症が令和4年2月（第6波）及び7月（第7波）に感染拡大がみられたが、感染症対策に配慮した行動やイベント開催などにより、国内外からの観光客が増加し、前年比35.1%増（809万人増）となった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響によりR4年度目標値（3,743万人）は未達成となったが、自然公園の保護と利用の推進を通じて、第5次長野県環境基本計画の目標3,820万人（最終年度：R9）の達成に取り組む。</p>							
指標②	環境配慮型トイレの整備率	R3年度推移	→	R4年度推移	↗	達成状況	達成
<p>整備箇所（121箇所）については、R3年度から変動は無いが、山小屋数及びし尿処理施設が設置されていない避難小屋数の現状確認（142→137箇所：5箇所減）を行った結果、整備率は上昇した。</p>							
指標③		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・山小屋における環境配慮型トイレの整備に対しては、国から事業者への直接補助制度がある。補助申請に当たっては都道府県が事務処理の一部を担うこととなっている。

・R4年度は1件の補助制度活用事例があり、整備に着手している（年度内完了できず、繰越事業として実施中）。

・山小屋事業者からは、「申請に係る事務手続に不慣れで不安・抵抗感がある」「自分の山小屋トイレに適した処理工法が分からない」といった意見が出されていることから、国に提出する書類等の作成支援や、先行して導入した小屋における設備の稼働状況の共有等が必要である。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

・国庫補助金を活用した環境配慮型トイレの導入が進むよう、山小屋等事業者の要望・課題をお聞きしながら、申請書類の作成に当たった内容確認や記載方法に関する助言、環境省のスタッフと協力した現地での立会確認や適切な工法に関する技術的な助言などの伴走支援を行ってトイレ整備・改修を進めていく。

事業名	自然公園施設整備事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	自然公園施設整備事業	280,901 千円	733,645 千円	530,952 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	自然公園施設等整備事業	直接	自然公園等における固有施設の補修及び改修等の実施 整備箇所：2箇所（歩道の改修等）
2	自然環境整備支援事業	補助金	国立公園、国定公園、県立自然公園及び長距離自然歩道において、市町村が行う施設整備等を支援 整備支援箇所：16箇所（合計補助額：104,818千円）
3	ふるさと信州寄付金等活用山岳環境保全事業	直接 補助金	①自然公園内で市町村が管理する公園施設の改修等への支援 ②山小屋事業者等が行う自然公園内の登山道維持補修への支援 ③山域ごとの取組や課題等の共有を図る山岳環境連絡会の実施 ①整備支援箇所：13箇所（合計補助額：7,038千円） ②整備支援箇所：12箇所（合計補助額：10,650千円） ③連絡会を2回開催（R4.5.30、R5.2.10）
4	中央アルプス国定公園重点整備支援事業	補助金	中央アルプス国定公園の施設整備を行う市町村への重点支援 整備支援箇所：9箇所（合計補助額：22,803千円）
5	御嶽山ビジターセンター整備事業	直接 委託	長野県立御嶽山ビジターセンターの整備及び開館に伴うイベント実施 ビジターセンターを王滝村田の原へ整備（8月27日開館（同日イベント実施））
6	登山道災害復旧早期支援事業	補助金	登山者や自然公園利用者の安全を確保するため、市町村等が実施する指定登山道の早期災害復旧を支援 整備支援箇所：0箇所（災害発生なし）